

みる

八月八日から九月七日まで
一か月間の催し物案内

しはい

浪速クラス

電64-4785
入場料・三〇〇円

記念——京味さそう、舞妓場

21日——31日 ☆

劇団島田・島田はじめ・島田ひろし・中野ひろし

れが

トビタ東映

電64-5801
入場料・四〇〇円

南美川洋子 ☆再会(野口五郎・江波杏子)

13日——19日 ☆実録海軍角(菅原文太・外オールド)

スター ☆昭和枯れすすき(高橋英樹・秋吉久美子)

☆野獣死すべし・復讐のメカニク(藤岡弘)

ほか) ☆昭和秘道史(梅宮辰夫)

20日——26日 ☆加賀まりこ) 坂道無風(長門勇・若下志麻)

格の森の慈雨の下(若下志麻・若山富三郎)

21日——9月2日 安藤組4組・人斬り舎弟(安

藤昇・外オールドスター) 女囚やくざ(池玲子・渡辺恒彦) お姐ちゃんお手やわらかに(和田アキ子・山田百恵)

トビタOS

電64-93503
入場料三三〇円

8日——15日 ☆雨の訪問者 ☆夜の刑事 ☆ガラスの熱い日

11日——17日 ☆007ダイヤモンドは永遠に ☆黒い砂漠 ☆野性の少年

☆風雪の太陽 ☆ハンマー ☆またまた

31日——9月5日 ☆神奇と機

たあかしな大追跡

関の島 ☆荒野の七人黄金の決斗 ☆エスピーオナーシ

トビタ映劇

電64-5339
入場料四〇〇円

☆美女狼傳六回同座るにカ

キュメント・新未亡人 ☆秘本袖と袖 ☆ベッドで泣く女

20日——26日 ☆東京エマニエル夫人(田口久美) ☆

団地妻・青春痴図

27日——9月2日 ☆生霊夫人(島

トビタシネマ 電64-90904入場料三三〇円

映画タビタ見の話

先月号のこの欄になにやら物欲しそうなことを書いたせいか、雑誌そのものの不景況を感ぜられしくなつて同情されたのか、良くなりからないが、今月はもう少し物が多い、といつてもなにか色気のあるものでは更々なく、いわゆるピラ下映画館の無料招待券である。頂いた所はトビタ東映トビタOSTトビタ映劇(各五枚)トビタシネマ(六枚)で、計二十一枚。つまり二十一人がタビタで映画みれるワケ。これを一人占めしようと編集委員会内部であわや内ゲバ、考え直して、読者のみなさんにおわけします。考え直し

た、というのは ①先月号は薄くなつたのに値段は同じで不評の声多かつたこと ②事務者渡世にピラ下でも出してやるかと思われたものも、今まで八カ月間、読者のみなさんの支えで雑誌をつづけられたこと、の二つです。

全読者にあたりませんが、二十一冊分に、このページに少し込んでおきます。どの店でも売り出す雑誌に入っているかはヒミツ。入ってなかつたらハズレです。また来月とぞまた、「ピラ下」というのは昔、風呂屋なんかで映画宣伝ポスターをばらしてもらうおれとして、ポスター(ピラ)の下に無料招待券をつけていたことが、富源とか、(ヤ)

読者之声 ☆ 其五

読者のフヅにに参加したけ

れども。。。。。

齊藤弘

七月一八日夕六時半、愛読者のフヅに、雑誌にたいする注文、文句そのほか何でも腹わって話し合つて見よう、……と言うには余りに情なくシラケ夕座談会であつた。委員もこれにはさすがにとまどいの色を見せ、開会のスピーチらしきものもない有様であつた。何も私はこのフヅににおける人員の数をいつていゝのではない。フヅににおけるホルターズの低さもり上りのなさをいつていゝのである。

明けはなされたマドの外にはドヤの屋上と夕焼けが空をしようちようするように赤しくうかんでいた。

委員の人々何か意見ありませんか？

「私四ページ数が少ないと思うのです。委員の人々それではページ数を増すにはどのような内容をより多くのせればいいと思いますか。ここで私は瞬時言葉が出ず苦しまぎれにうまい言葉が言えませんと逃げてしまつた。……」

今回口では言えないかわりにペンを以て言わせてもらいます。

一、一般社会における階級差別

これらのことを石頭的リクツを抜きにして面しろおかしく書いた方がいいと思う。

二、行政に対する批判

金の労働者をトアネズミと同一視するあり、このあわれむべき馬鹿犬をそれとなく労働者蔑世にのせてもらいたい。

仕事はサーサー かんじよはマーマー

仕事は多ぜい うまいのは一人

親方ボボして 悪い茶を飲んで

若衆せんずりかいて 茶も飲めぬ